

志木二中だより



令和2年度 12月号
志木市立志木第二中学校

令和2年12月1日(火)
志木市館1-3-1 TEL 048-473-2379

面接練習を振り返って

校長 本 庄 真

11月中旬に入試に向けての面接練習を行いました。私は50人の3年生を担当しました。毎年行っていますが、今年度は全員に同じパターンでやってみました。3年生だけでなく2年生、1年生もすぐにその時期がくるので参考に読んでみてください。

1人当たりの時間は15分、10分実際に面接し5分を反省会と予定しました。始めにクラス、出席番号、名前を言ってもらい①志願先の学校名とその志願理由 ②入学したら3年間何をしたいのか ③高校卒業後の進路で考えていること ④中学校で一番印象に残っていること ⑤最近感動したこと ⑥あなたの長所と短所 ⑦担任の先生の名前 どんな先生か ⑧校長先生の



名前 どんな先生か ⑨入学できたらこんな良い学校にするという自己PRを1分間で こんな流れです。①が最も重要なのは言うまでもなく、なぜその学校を選んだのか、パンフレットに載っている「校風に惹かれました」では弱く、実際に訪問した際の印象(校舎、先生、先輩、部活動の様子)などが語られていると説得力がありました。遠くにある学校を選んだ場合は、どうしてその学校を知ったのか、そのあたりの理由もあるとより明確になります。②で気になったのは、すぐに

「不得意教科を克服したい」と話す人が多いことです。気持ちはわからないでもないのですが、高校は義務教育ではなく自ら好きな教科等を伸ばす場であると捉え、まずそこを話し、そのあとどうしても言いたければくらいで良いと思います。③はまだ決まっていないという人が半数くらいでしたが、漠然とでも夢があれば言ってみると話が広がります。④は人により様々でした。行事、部活動、大会、コロナによる休校、最近行った学年レクなど。うまく自分のことをアピールできると効果的です。ここまでと⑥はあらかじめ紙に書いているのでスムーズに言えても⑤で躊躇する人がいました。なんでも良いのだけれどいざ聞かれると出てこない、そんな感じでした。⑦は「生徒は先生をよく見ているな」と。⑧はありがたいことに名前を全員がフルネームで間違えずに。本人を前にどんなと聞かれて答えにくかったと思いますが、意外に戸惑う様子もなく「朝挨拶してくれる」「朝会で話をしてくれる」「大会などに応援に来てくれる」「授業中ウロウロしている」「校長先生らしくない校長先生(褒め言葉と受けとっています)」⑨が一番の難問だったようで、自分の良さを1分も話すのは難しく、多くの生徒が短時間で終了。逆に言葉が出ず時間だけが過ぎていく場合もありました。与えられた時間で自分を語るという場面は、これから何度も出てくると思います。訓練しておくとういと思います。

反省会ではまず自己採点をしてもらいました。多くの生徒が100点満点で半分の50点以下をつけていました。理由を聞くと「緊張しすぎた」「言葉が出てこなかった」「質問されてから間が空いた」など。こちらが評価するより自らに厳しく、特に「間が空く」ことを生徒は強く気にしていました。「いきなり答えるより、少し考えてから話すくらいがちょうど良い」とそこをあまり気にしないようアドバイスをしました。

ついつい熱が入り毎日最後の人を一人分くらい待たせてしまいました。質問も受けました。それだけ生徒も真剣にこの練習に臨んでくれていました。私にとってわずか15分ではありますが、一人ひとりの生徒と向き合える貴重な時間となっています。3年生の健闘を心から祈念しています。